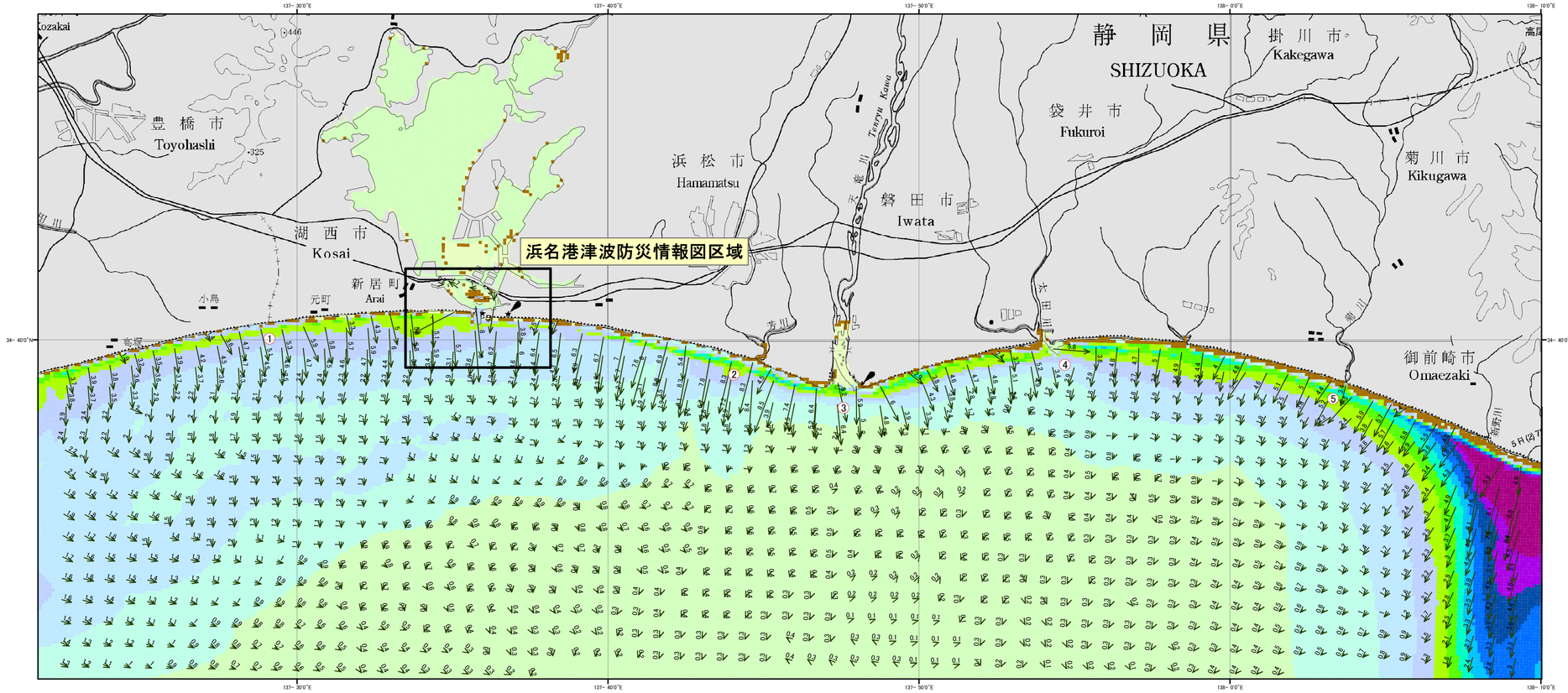
想定東海地震による遠州灘津波防災情報図広域版（引潮）

計算条件：最低水面・１５０ｍメッシュ

隆起量：平均-3cm(-84cm～138cm)

・この図は１５０ｍメッシュで計算した津波の概要版であり、港湾内や沿岸域の情報は必ずしもシミュレーション結果が正確に反映されていません。
なお、「津波防災情報図」（５０ｍメッシュで計算）が整備されている海域はそれを参照してください。

・この地域は震源域である。震源域では、地震発生直後に津波が発生する可能性があるため、津波の到達時間は記載していない。



・この図は発災時から６時間のシミュレーションを行い作成しています。
・最大流の矢符は、６時間のシミュレーション時間から１５０ｍメッシュ７＊７個（１０５０ｍ＊１０５０ｍ）の４９個から最大のものを表示しています。
・表示されている流速矢符は津波による流向・流速を示しており、海潮流の要素は考慮されていません。
・経時変化図（水位変動のグラフ）は最低水面を基準面として、６時間の津波の水位変動を表示しています。時間による潮汐の変化は考慮されておらず、津波は計算条件の基準面に収束します。
・経時変化図に記載されている赤線は、潮汐が無いと仮定したときの海面（平均水面）を現しています。
・陸部の情報は海図から採用しています。
・計算に使用した地形データは、海上保安庁海洋情報部のＪ－ＥＧＧ５００、Ｊ－ＢＩＲＤ、沿岸の海の基本図地形データ及び海図を作製する際の基礎データを使用しています。

・この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、国土地理院発行の数値地図５０ｍメッシュ（標高）を使用したものである。（承認番号平：１５総使、第６７２号）

5,000　2,500　0　5,000　10,000　15,000 m

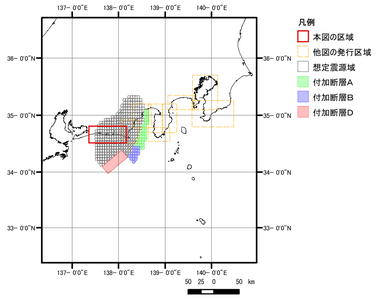
N
W　E
S
1:125,000
座標系：メルカトル図法
測地系：世界測地系(WGS84)

凡例
- 露出域
- 経時変化図出力点

最大水位低下
- 600～最大893cm
- 550～600cm
- 500～550cm
- 450～500cm
- 400～450cm
- 350～400cm
- 300～350cm
- 250～300cm
- 200～250cm
- 150～200cm
- 100～150cm
- 50～100cm
- 50cm未満

引潮時最大流〔knot〕
- 6 knot
- 4 knot
- 2 knot

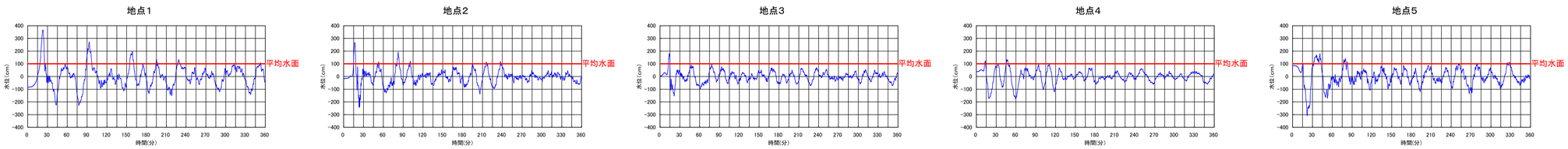
本図の区域及び想定震源域と付加断層の位置



	中央の概位	中央の深さ
想定震源域	３４－４５′Ｎ、１３８－０２′Ｅ	１９ｋｍ
付加断層Ａ	３４－４５′Ｎ、１３８－３０′Ｅ	４ｋｍ
付加断層Ｂ	３４－１５′Ｎ、１３８－２０′Ｅ	６ｋｍ
付加断層Ｄ	３４－１０′Ｎ、１３７－５０′Ｅ	７ｋｍ

・本図は、中央防災会議「東海地震に関する専門調査会
（平成１３年１２月１１日）」で公表された断層モデルを使用した。

経時変化図：図上の位置における津波の挙動を時系列で示す。



作成機関：第三管区海上保安本部
作成年月：平成１９年１０月（初版）